

## 会 議 記 録

会 議 名 称	杉並区立塚山公園管理事務所及び塚山公園外 1 3 公園の維持管理業務受託者候補者選定委員会（第 1 回）
日 時	令和 6 年 8 月 20 日（火）午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分
場 所	巳善第 2 ビル 6 階会議室
出 席 者	東京農業大学教授 荒井 歩 NPO 法人 Green Connection TOKYO 代表理事 佐藤 留美 樹木医 和田 博幸 杉並区都市整備部土木担当部長 土肥野 幸利 杉並区区民生活部永福和泉地域担当課長 北川 次男
事務局職員	都市整備部みどり公園課長 大場 将国 都市整備部みどり公園課管理係長 油川 和彦
配布資料	資料 1 杉並区立塚山公園管理事務所及び塚山公園外 1 3 公園の維持管理業務受託者候補者選定委員会名簿 資料 2-1 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料 2-2 杉並区委託事業プロポーザル実施取扱要綱 資料 3 選定委員会の運営と所掌事項について 資料 4 杉並区立塚山公園管理事務所及び塚山公園外 1 3 公園の維持管理業務公募型プロポーザル実施要領 資料 5 選定方法等について(案) 資料 6 選定委員会の日程(案)
会 議 次 第	1 委員委嘱 2 会長選出 3 議題 （1）選定委員会の運営と所掌事項について （2）実施要領について （3）選定方法等について 4 今後の選定委員会の日程について
会議の結果	1 委員委嘱 配布資料の確認  2 委員の紹介、会長の選出 会長は荒井委員に決定。  3 議題 （1）選定委員会の運営と所掌事項について 資料 3 を用いて、事務局から説明した。 応募事業者からの接触・応募事業者との利害関係が疑われる場合は事務局へ連絡するよう伝えた。 ＜討議・質疑内容＞ 特になし。 （2）実施要領について

	<p>資料4を用いて、事務局から説明した。</p> <p>&lt;討議・質疑内容&gt;</p> <p>① 提案事項をまとめてわかりやすくすべき（緑化モデル園、相談所、雨庭、維持管理）</p> <p>② 区の目指すビジョンと提案事項の関係をわかりやすくすべき（温暖化委対策実行計画、みどりの基本計画など）</p> <p>③ 維持管理において仕様に加えて創意工夫により実施できる内容を明確にもらえるよう、業務説明書の記述をわかりやすくすべき（14公園の連携、ボランティア活動等への協力、広報、アメニティ）</p> <p>④ 仕様の数量をより明確にすべき（相談所の開設回数・定例会・情報共有・市民の声を運営に活かす体制、区が実施しているユニバーサル対応の実施）</p> <p>(3) 選定方法等について</p> <p>① 公園ボランティアへの対応と近隣住民等への対応は項目を分けたほうが良い</p> <p>② 提案事項は、相談所の運営、運営への新規提案、雨庭、その他区の方針に即した提案の4つに分類したほうが良い</p> <p>③ 業務の実施体制（区との連携体制）のみ2倍評価とする（委員一人当たり1次審査88点満点・2次審査88点満点 合計176点満点）</p> <p>④ 評価基準の評価指標「業務に対する基本的な考え方」の評価内容の項目、評価指標を評価表とあわせて修正する</p> <p>4 今後の選定委員会の日程調整  第2回：令和6年11月6日（水）  第3回：令和6年12月18日（水）</p>
--	--

## 会 議 記 録

会 議 名 称	杉並区立塚山公園管理事務所及び塚山公園外 13 公園の維持管理業務受託者候補者選定委員会（第 2 回）
日 時	令和 6 年 11 月 6 日（水）午後 6 時 00 分～午後 7 時 20 分
場 所	巳善第 2 ビル 6 階会議室
出 席 者	東京農業大学教授 荒井 歩 NPO 法人 Green Connection TOKYO 代表理事 佐藤 留美 樹木医 和田 博幸 杉並区都市整備部土木担当部長 土肥野 幸利 杉並区区民生活部永福和泉地域担当課長 北川 次男
事務局職員	都市整備部みどり公園課長 大場 将国 都市整備部みどり公園課管理係長 油川 和彦
配布資料	資料 1 第 1 回選定委員会 会議記録 資料 2 杉並区立塚山公園管理事務所及び塚山公園外 13 公園の維持管理業務公募型プロポーザル 質問と回答 資料 3 経営状況分析結果報告書 資料 4 第一次審査結果まとめ 資料 5 第 3 回選定委員会（第二次審査）について 別冊 応募書類一式（事前に郵送にて配布）
会 議 次 第	1 開会 2 第 1 回選定委員会会議記録の確認及び実施要領の修正点の確認 3 応募状況について 4 第一次審査結果及び第二次審査対象事業者選定について 5 第 3 回選定委員会（第二次審査）について
会議の結果	1 開会 会長あいさつ 配布資料の確認  2 第 1 回選定委員会会議記録の確認及び実施要領の修正点の確認 資料 1 を用いて、事務局から第 1 回選定委員会が出された意見をもとに実施要領を修正し、委員に事前確認をしたうえで、公表したことについて説明した。 <討議・質疑内容> 特になし  3 応募状況について 資料 2 を用いて、事務局から、実施要領の公表後の質問と回答の状況、最終的に 1 団体から応募があったことについて説明した。 <討議・質疑内容> 特になし  4 第一次審査結果及び第二次審査対象事業者選定について

資料3、4を用いて、事務局から公認会計士に評価を委託した財務状況分析結果について、第一次審査における各委員の採点集計状況について説明した。

<討議・質疑内容>

各委員の審査集計結果を選定委員会内で共有し、意見交換を行った。

- 今回は1者だけの審査となったため、事業者ごとの比較がなかったため、難しい面があった。
- 項目によって、一般的などころでは出来ていると捉えるか、物足りないと捉えるかで評価が違ってくる。
- みどりの相談所というせっかくの拠点があるので、活かしてってもらうことを望みたい。
- 提案書に記載はされているが、つながっていない部分も見られ、もったいない。書類の記載内容で確認できない点や読み取れなかった部分について、ヒアリングの際に聞いてみたい。
- 第一次審査通過基準点の6割というのは1人でも6割を下回った場合はどうなるのか。
  - 通過基準点は264点である。5人の委員の合計で基準点を越えているかどうかで判断することとなる。
- 一次審査と二次審査において、同様の採点基準での採点となるが、今回採点した点数と違っていても良いのか。
  - 問題ない。実際にプレゼンテーションやヒアリングをすることによって、点数は変わると思う。
- 維持管理業務となっていると、みどりの相談所の提案はしにくい面がある。今後、公募の内容を検討する際に考えてもらいたい。
  - 次回以降に向けて、検討していきたい。

意見交換の内容を踏まえ、次のとおり評価をまとめた。

第一次審査通過の必要最低点は、5名の委員の合計点440点（各委員の持ち点88点）の6割である264点以上である。

集計の結果、得点が282点となり必要最低点を上回ったため、第一次審査を通過とし、応募事業者を第二次審査対象事業者として決定する。

5 第3回選定委員会（第二次審査）について

日時：令和6年12月18日（水）午後6時から

場所：杉並区役所 西棟8階 第9会議室

資料5を用いて、事務局から第二次審査の概要やスケジュール案について説明した。

<討議・質疑内容>

- 事業者のプレゼンテーションでは、プロジェクターを使用してスクリーンに投影する形で説明してもらう方が良い。
  - 説明内容を投影して、わかりやすく説明してもらうこととする。
    - 事業計画書に記載していない新たな提案を盛り込むことはできないなど、プレゼンテーションの注意事項を第二次審査対象通知に添えて、送付することとする。

## 会 議 記 録

会 議 名 称	杉並区立塚山公園管理事務所及び塚山公園外 1 3 公園の維持管理業務受託者候補者選定委員会（第 3 回）
日 時	令和 6 年 12 月 18 日（水）午後 6 時 00 分～午後 7 時 40 分
場 所	杉並区役所西棟 8 階 第 9 会議室
出 席 者	東京農業大学教授 荒井 歩 NPO 法人 Green Connection TOKYO 代表理事 佐藤 留美 樹木医 和田 博幸 杉並区都市整備部土木担当部長 土肥野 幸利 杉並区民生活部永福和泉地域担当課長 北川 次男
事務局職員	都市整備部みどり公園課長 大場 将国 都市整備部みどり公園課管理係長 油川 和彦 都市整備部みどり公園課管理係 早戸 良太
配布資料	資料 1 第 2 回選定委員会 会議記録 資料 2 第一次審査結果 別 紙 受託者候補者採点表（第二次審査用）
会 議 次 第	1 開会 2 第 2 回選定委員会会議記録確認 3 受託者候補者選定第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング） 4 第二次審査結果報告及び受託者候補者の決定 5 閉会
会議の結果	1 開会 会長あいさつ 配布資料の確認  2 第 2 回選定委員会会議記録確認 資料 1 を用いて、事務局から記載事項について説明し、委員からの意見に基づく修正内容について確認のうえ、会議記録を確定した。  3 受託者候補者選定第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング） 事務局より、本日の進め方、第一次審査の結果、第二次審査の進め方について説明を行った。 本日、プレゼンテーション、質疑応答を行い、第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果をもとに本選定委員会の受託者候補者を選定する旨、説明を行った。 また、事業者に対し、ご発言いただいた内容は、選定された際に実現していただくこととなることを伝えた。  事業者のプレゼンテーションに対し、質疑応答、審査を行った。

**【事業者への主な質疑】**

- 公園利用者からの要望について  
→施設に関すること（トイレや遊具の更新）や事業（講習会等）の充実に関するなどが寄せられている。
- 所長候補者について  
→予定者を紹介
- 公園周辺の地域がらについて  
→比較的高齢の方が多く、犬の散歩者も多い。
- 14公園の管理の工夫について  
→塚山公園は希少植物があり、生物多様性に配慮したエリアづくり、テーマに沿った植栽計画など。13公園は小規模で住宅地にあるため、周囲住民の要望にできるだけ沿うような管理。
- 一時避難所・災害・事件・事故対応について  
→これまでも年2回、職員の訓練を実施している。  
発災時には、職員が状況を把握し、本部と連携をとって対応。地域との連携も必要であり、地域との訓練も考える。
- ボランティアについて  
→現状では、高齢の方が多く、若い方はあまりいない。イベント等の機会を捉え、参加を増やしていきたい。  
（自発的に公園でやってみたいという活動・動きをどう受け止め、実現させていく考えかとの問いに対し）  
→自発的な動きへのサポートは必要と考える。まずは、イベント等に参加していただき、ニーズを把握・引き出してサポートしていく取組を行っていきたい。
- 生態系等に関する公園利用者の関心について  
→普段から散歩等で利用されている方は、比較的関心は薄いですが、みどりに関するイベントに参加される方は、みどりに興味を持たれている方、知識を得たいと考えている方が多い。
- 公園からの発信について  
（公園からまちをつくるということで、様々なことを発信していったらいい。植栽計画も区と一緒にやっていき、次に更新していく連動の意識を持たれているかとの問いに対し）  
→そういったことを意識して、どんどん発信していきたい。区のみどりを増やしていく取組についても理解している。
- モデル園について  
→在来植物を使った雨庭の提案を行っている。
- みどりの相談所やイベントについて  
（グリーンインフラは様々な機能を社会課題に活かせる。その辺りの考えについての問いに対し）  
→グリーンインフラは幅広い意味があると考え。イベント等で楽しみながら知っていただく、みどりを学びながら街を歩く周辺を含めた環境学習も行っていきたい。

#### 4 第二次審査結果報告及び受託者候補者の決定

各委員の採点後、集計結果を確認した。  
審査の結果、選定基準である第一次、第二次審査の配点総合計6割以上を取得したため、選定委員の合意の上、当該事業者を受託者候補者として選定し、区へ答申することとした。

##### ○受託候補者選定時の主な意見

委員から主に以下の意見があった。

- ・管理をしていく中で、地域のつながり等への発展を期待する。
- ・塚山公園の特徴を引き出してほしい。
- ・テーマに沿った緑化計画を意識してほしい。
- ・地域の特性を捉えての提案がほしい。
- ・みどりの相談所をもっとうまく活用してほしい。
- ・新しい方たちが公園に集まれるような取組や、それをサポートできることが大事。
- ・今後は、維持管理を含めた形でのパークマネージメントを打ち出していくことについて区側の工夫も必要。

〈閉会〉